

たいよう

2025年3月24日 第61号

校舎への感謝を表そう！おそうじ大作戦

卒業に向けての話合いのとき、「校舎に感謝の気持ちを表したい」という意見が出した人がたくさんいました。2月の家庭科授業では、普段の清掃をふりかえってみました。

清掃の時の自分

清掃の時、自分が意識していることは、時間をたっぷり使って清掃をすることです。私の班は、なんかけっこう時間があまっています。班の下学年の子たちが、「〇〇が終わったので何かすることはありますか。」と聞いてくれます。そういう時は「じゃあ◇やってくれる？」と言うのですが、それはだいたい「逆に何か他にやることあるっけ？」と聞きたくなります。でもそうすると「じゃあ終わり〜」ってな感じになっちゃいそうなので、考えてほじくり出したり、細かいところの仕事を頼んだりなど、工夫しています。少し直したいなと思うことは、なんか気を使ってちゃんと注意できないことです。今日も、ゲームの話を私にした子がいて、しかもずーっと言っているから注意しなきゃ…と思っても、楽しげに話しているからきちんとは注意できませんでした。なのでそこをもっとちゃんとしたいです。

担任はそれぞれの清掃の様子を直接見ることはできないのですが、一人ひとりのふりかえり作文を読んで、がんばりや苦勞が読み取れて、そして「☆☆さんらしいなあ」とほほえましく思いました。

6年生（自分）が普段の清掃で**がんばっている**、**良いところ**と、**もっとがんばりたい**、**直したいところ**を学年のみんなで出し合いました。

○班のみんなと協力できた ○役割が終わったら別の仕事もする ○班のみんなとコミュニケーションをとっているから仲がいい ○机を一緒に運んでいる ○困っていることや分からないことを教える ○5分前行動をしている ○すぐに掃除を始められる ○時間内に終われる ○終わっていないところを手伝う ○自分から行動している ○いない人の分の仕事をやっている ○終わっていないところを手伝う ○掃除は好きではなかったけれど学校をきれいにするようにがんばった ○班の仲間のよいところに気づけている

◇体育館で遊ぶと清掃開始時刻に遅れる ◇役割が終わってもいつも同じ仕事しかしていない ◇いない人の分の仕事をしていない ◇赤白帽子を忘れる ◇下学年に注意できない ◇下学年に怒りすぎてしまう ◇分かりやすく指示をできない ◇伝わる声で話していない ◇時間内に終わらない ◇しゃべっている ◇ふざける

2月下旬、みゆき班の仲間といっしょにする清掃は残り7回。そこで…

○普段の清掃時間で、校舎への感謝の気持ちを表そう

目標① 自分の仕事にプラスワン！ 目標② 下学年が真似したくなる、伝統になる行動を！

目標①は、「そうきんが一番大変なので、自分の役割が終わったら手伝う」「普段動かしていない先生の机や電子黒板

などを動かして掃除する」「本棚の整理をする」「ガムテープで落ちているゴミをとる」「始まる前に窓を開ける」など

目標②は、「最後にゴミが落ちていないかをチェックする」「5分前行動をする」「すみすみまで掃除する」「下学年の仕事を手伝う」「コミュニケーションを大切にして、ふざけないくらいでみんなと話したい」「1年の頃の掃除の班長のように、さりげなく下の学年を助けられて、注意できるようになりたい」など

一人ひとりが自分の目標をもって取り組み、毎回の掃除後に自己評価を続けました。3月18日に、約1ヶ月の取組をふりかえりました。

☆6年間使った校舎に感謝を表せました。自分の仕事じゃないこともでき、大清掃じゃないときも、普段動かさないものを動かして掃除できてよかったです。6年間ありがとう！これが伝統になってほしいです。

☆前期の頃よりも、掃除がうまくできてとてもよかったし、指示を出せたのでよかったです。

☆前は廊下が騒がしくても注意できなかったけれど、最近は注意できるようになったし、掃除を丁寧にできるようになった。21日が最後の掃除なので、1～5年生のお手本になるように、悔いがないようにがんばりたいです。

中には「あまりちゃんとできなかった」と自己評価している人もいました。が、いっしょに清掃をしている職員からは「〇〇さんはいつも自分の仕事をしっかりやっていますよ」とのうれしい情報が…。自分では目標達成と思えなくても、周りからは良い仕事ぶりを見られていた…ということですね。

保護者のみなさん、覚えていますか？12月の学年だよりに「掃除と片付けはたいよう学年の課題」と載せました。あれから3ヶ月。たいよう学年は、課題を克服しつつあります。清掃時間以外でも、3月の図工授業で、作品づくりが終わった人が床や机の絵の具汚れをきれいにし、使ったぞうきんやバケツも片付けてくれました。活動の後に、いつの間にかほうきとちりとりを持ってゴミを集めている人がいました。はばたき学習でも、長机やパイプ椅子などの道具を元の場所に安全に運んで戻しました。使った段ボールをしばって置き場に運びました。担任から一人ひとりに細かい指示を出さなくても、自分で進んで仕事を探してやっていました。「これ、どこに運べばいいですか？」と、わからないときには自分から質問してくれます。その様子を見ていると、すがすがしい気持ちになります。「意外に掃除や片付けを得意なことに気付いた」「片付けると気持ちがすっきりする」「やっぱり掃除や片付けは好きになれないけれど、やるべきことはやります！」など、それぞれの自己発見（成長）がうれしい年度末。たいよう学年らしさの一つが「自分の課題に向き合い、解決・改善しようと前向きに努めること」なのです。

これからも「ふりかえり」を大切に…

たいよう学年はいろいろな場面でふりかえり作文を書いてきました。本日、ファイルに入れて持ち帰ります。作文の中から、「キャリアパスポート（小学校から高校までのキャリア教育の活動記録）」に入れたい作文を自分で選びました。「陸上大会のふりかえりは絶対に入れたい」「音楽交歓会や合奏の練習のことは全部入れたい」など、自分の成長やがんばりを特に表しているものを選びました。キャリアパスポートファイルは、小学校から進学先に直接届けます。将来、この作文を読み返したときにどんな気持ちになるかな…楽しみです。

明日はいよいよ卒業式！ 9時受付です よろしくお願ひいたします